



The Y's MEN's CLUB of もりおか

<VOL156.2020.12>

もりおかクラブ事務所：〒020-0804 盛岡市本町通3丁目1-1 Tel 019-623-1575 盛岡YMCA内
盛岡YMCA HP <http://www.ymcajapan.org/morioka/> 検索エンジンワード「盛岡YMCA」

「主題」

国際会長	Jacob Kristensen (デンマーク)	「価値観、エクステンション、リーダーシップ」
アジア太平洋地域会長	David Lua (シンガポール)	「変化をもたらそう」
東日本区理事	板村 哲也 (東京武蔵野多摩)	「変化をたのしもう！」
北東部長	南澤 一右 (仙台青葉城)	「変化を楽しみながら新生北東部を創ろう！」
もりおかクラブ会長	長岡 正彦	「暗雲をふりはらえ、きっと未来は明るい」

今月の聖句 ルカによる福音書、6章44節

「善い人は良いものを入れた心の倉から良いものを出し、悪い人は悪いものを入れた倉から悪いものを出す。心からあふれ出ることを語るのである。」

会長	長岡 正彦
副会長	山口 貴伸
書記	濱塚 有史
会計	大関 靖二
担当主事	中村 渉 (チャン)
メネット	井上 優子

令和3年1月新年例会

日時、場所	1月9日、18時30分より アイーナ団体活動室3
卓話	現在手配中
第二例会	1月23日、18時30分より 駅前居酒屋じよ居

会長巻頭挨拶



長岡会長

みなさまこんにちは、2020年が終わろうとしています。ワイズ生活が長くなりましたがこないやな年は初めてです。ワイズの活動が出来ないなんて、なんのためにワイズメンなのか分からなくなっています。盛岡の地に活動の拠点を置いて、ほんの少しだけ盛岡YMCAに尽力して子たちや、リーダーの手助けを

しようとして活動していましたが、今年のコロナ禍でなにもできていません。夏の初めに、GOTOトラベルなる政策が始まり、まずいと思いました、全国にコロナをまき散らす政策だと思いました。案の定コロナは全国に広がり、感染者を出さないよう頑張ってきた岩手もコロナに汚染されてしまいました。身近に迫ってきたコロナに怖さを感じますが、絶対例会の開催は中止をしないと心に誓ったものの、出席者がいない状況には私個人の思いなどはまったく通じません。憎むべきはコロナです。どこが発祥で、だれ

が罹ったかなどは関係ありません。命を奪わないで欲しい、だれも死んで欲しくない。今思うことはこれだけです。だから例会も中止です。いたしかたありません。大筋賛成、極論反対ではこのコロナには勝てないと悟りました。

2月頃だったと思います。「戦う君の歌を、戦わないやつが笑う」中島みゆきのファイトという歌の一説を思い浮かべ、プリンセス号のクラスターの処理にあたっている医療関係者に感謝しようと訴えた事を思い出します。あの頃、私に言わせれば、笑っていた方々が、今苦しんでいるのだと思っています。

また今、日本を救えるのは、首都圏や大都会の方々だとも思っていました。思いはその通りになっています。薬ができて安心の暮らしが戻るまでもう少しです。戦っている医療従事者や、現在の感染者にエールを送るとともに、健康に暮らしている私たちは感染しないよう一緒に戦って行きましょう。もう一度3密を回避、マスク手洗い、うがい、基本の感染防止を意識して暮らしていきましょう。明るい未来はもうすぐそこまでやっています。

さようなら2020年コロナの年よ。

12月クリスマス例会は中止でした。

楽しみにしていたクリスマス例会は中止でした。新会員の入

井上メンから、DBC芦屋クラブの島田恒メン(直前会長)の「今年の報告」をブリテンに掲載して欲しいと依頼されました。抜粋して掲載いたします。

コロナ禍の中でゆえに思わぬ経験がありました。IT活用で遠隔地の会議や学会に参加できる事、巣ごもりでお金を使わない生活様式を覚えた事(笑)、対面で人と交流できることの大切さを改めて実感したことなどです。もともと日本人は働き蜂、家では粗大ごみで役立たず。「粗大ごみ 毎朝出すけど 夜帰る」と言われてきました、その粗大ごみが家で仕事。「テレワーク 今日も居ると 邪魔にされ」と働き方改革?が進んできました。

アフガンで医療・緑地回復・農業発展に尽力した、中村哲医師が凶弾に倒れて1年経ちました。もともとは私も役員を務めていた組織から派遣され、タイでの国際会議で同席、空港までタクシーでポコポコ道を同乗しました。飾らない、しかし不動の意思を貫く魅力あふれる存在でした。12月28日午後9時から「BS1スペシャル」で彼の歩が放映されますのでご覧くださいと思えます。 ゴルフ報告。今年は平均105。去年は107。傘寿を越え

会式も中止です。北東部長の訪問も中止です。もりおかクラブは活動停止に追い込まれました。残念です

でちよっぴり進化を自覚。昨年最高は95でしたが、今年は90。ドライバーはフェアウェイキープ、4つのパー5は平均5. 5. 20m超、10m超パットがズドン！我ながらビックリでした。理由は森岡プロのアドバイスでした。私が関西学院大学商学部で教鞭をとっていたので「先生」と持ち上げられ、ガンコな性格を棚に置いて指導に素直。健康維持を兼ねて運動神経の弱さをカバー、ヘタの横好きを楽しみます。

「クリスマスの光が私たちを照らし、

新しい年が平和になりますように」

今年は早春からコロナに振り回された日々でした。世界も行き来ができなくなり、世界を導くリーダーシップも欠落しています。そして一人一人も命の恐怖をもち、活動も大きく制限されました。一方で、コロナ災禍に学ぶものもあるかもしれない。

私たちは結婚50周年を迎え、旅行を計画しましたがコロナに遮られ、近所で日本料理のランチを楽しみました。今年もお世話になり、ありがとうございました。コロナ禍にあってもよいクリスマスと新年をお迎えくださいますようお願いしています。

2020年12月 島田 恒

高田松原復興祈念公園訪問

陸前高田市に行ってきました。8割がた完成した高田松原復興祈念公園を訪ねてみました。久しぶりに奇跡の一本松と再会してきました。青空に向かって凜とたたずむ姿に、また感動しました。「げんきだったかい？」オブジェの松に向かって問いかけましたが、返事は帰って来ません。奥にはユースホステルの



奇跡の一本松とユースホステル

被災建物が、当時の原型を残したまま、津波の恐ろしさを語っているようでした。盛岡YMCAサッカー教室が春と夏の合宿を行っていた宿でした。差し入れをもって訪ねた事を思い出しました。災害遺構として原型のまま残していくそうです。

ここは7000本の松が防風林として市内を守っていました。

それは見事な松の林、先人たちが植樹し、300年の時を経て「高田松原」という観光名所になっていました。海水浴で火照った体を日陰が癒している光景も今は昔です。でもそんな松を後世に引き継ごうとして奇跡の一本松が生きていたところに採取した種を育て、またがれきの中から拾った松ぼっくりの種を採取するなどして、丁寧に育てた苗を元の砂地で育てています。私たちの玄孫の代には松林が復活するのでしょうか。そんな光景をみてみたいものです。

来年は、東日本大震災から10年を迎えます。新しい日々の暮らしが始まっています。未来の三陸沿岸が地場産業と観光で発展していくよう、私たちも忘れず応援していきましょう。



高田松原の松の子孫の苗と、オブジェの奇跡の一本松

12月のハッピーバースディ 菊池 崇江さん、お誕生日、おめでとうございます。

感謝 りんごファンド ¥26,300円 寄付 ¥12,000(岩国みなみ 高瀬メン)

編集後記

またしても、記事が無い事態です。活動停止はブリテン担当としては苦しいことです。本来、特集の総集編を掲載するところですが、4ページ埋めるには絶対量が足りないため、2ページのブリテンになってしまいました。すみません。

津波の破壊力を後世に伝えるのは現物をそのまま残すのがいいのでしょうか？賛成も、反対もあり議論が分かれています。私は、ゆかりがあったので思い出してしまいますが、なにもなかった方々はどう感じるのでしょうか。悩ましい問題です。また新年でお会いしましょう。長岡